

- ・市民・バス利用者アンケート結果
- ・おおたけ交通まちづくり
ワークショップ結果
- ・先進事例の紹介

市民・バス利用者アンケート ～ 実施結果 ～

実施要領

	実施要領	配布件数
●市民アンケート	(実施期間) 9月1日～12日 (配布回収方法) 郵送配布・郵送回収 (調査対象) 15歳以上 1世帯あたり2枚の調査票を配布。	大竹地域 : 1451世帯 小方地域 : 812世帯 玖波地域 : 497世帯 川手地域 : 37世帯 栗谷地域 : 130世帯 松ヶ原地域 : 73世帯 合計 : 3,000世帯
●バス利用者アンケート	(実施日) 9月2日(火) (配布方法) 調査員がバス内で手渡し配布。 同一人物に2枚以上配布しない 小学生以下には配布しない	坂上線 : 70件 大竹・栗谷線 : 23件

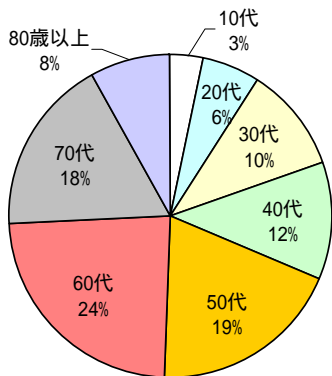
回収状況

	配布件数	回収件数	回収率
市民アンケート	3,000世帯	1,171世帯 (1,925件)	39% (世帯数)
バス利用者アンケート (坂上線)	70件	37件	53%
バス利用者アンケート (大竹・栗谷線)	23件	10件	43%

回答者の属性

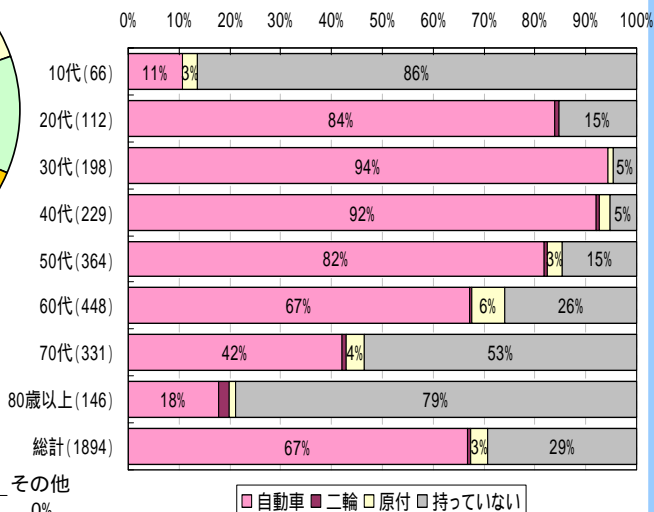
市民アンケート

年齢構成



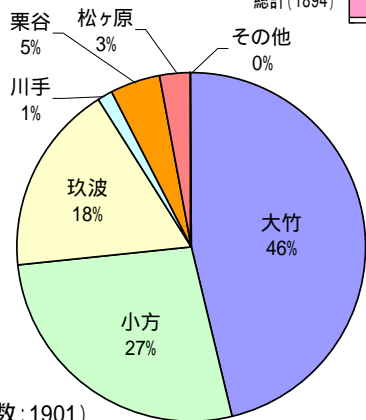
(サンプル数: 1919)

免許保有状況



自動車と原付等は、自動車免許にカウント

住所



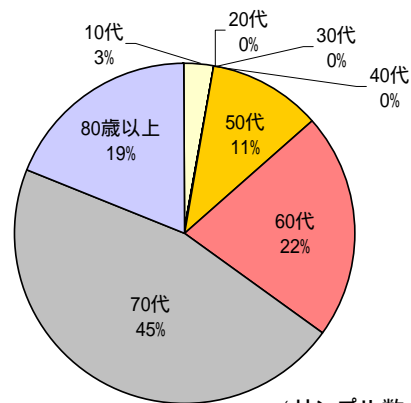
(サンプル数: 1901)

バス利用者アンケート

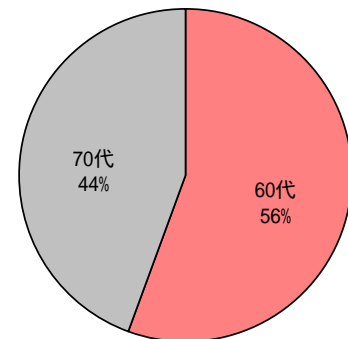
(坂上線)

(大竹・栗谷線)

年齢構成

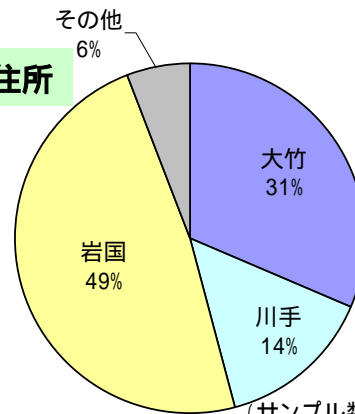


(サンプル数: 37)

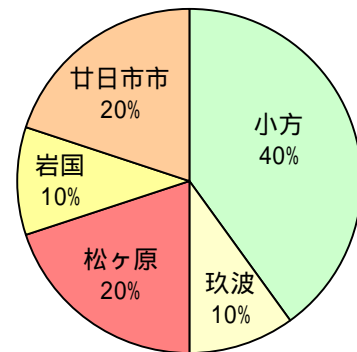


(サンプル数: 9)

住所



(サンプル数: 35)



(サンプル数: 10)

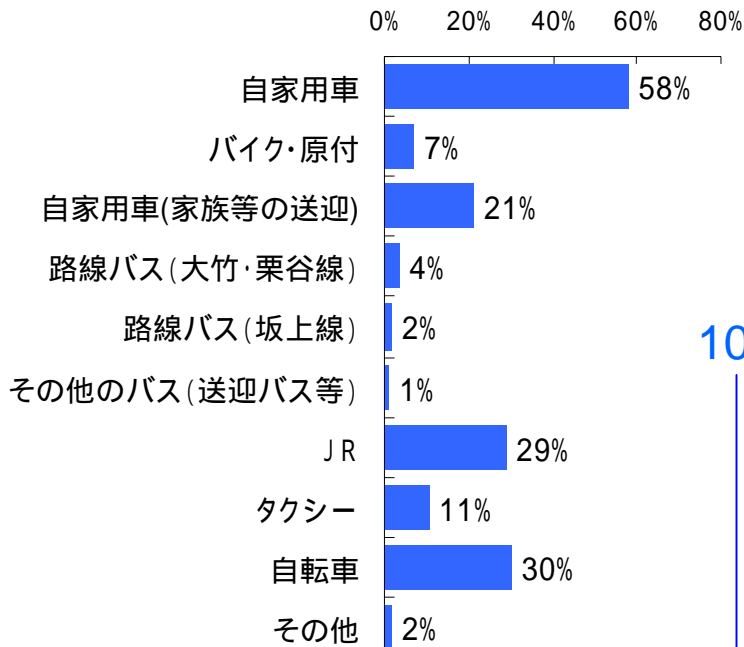
主な質問項目

- (1) 今の交通環境は満足？ (市民アンケート)
- (2) 普段の行動は？ (市民アンケート)
- (3) 路線バスは満足？ (バス利用者アンケート)
- (4) 今後の整備のあり方は？ (市民アンケート)

(1) 今の交通環境は満足？ (市民アンケート)

市民の約6割が自動車を利用。利用手段に満足する人は過半数。しかし年齢が上がると、満足と感じる人は減少。

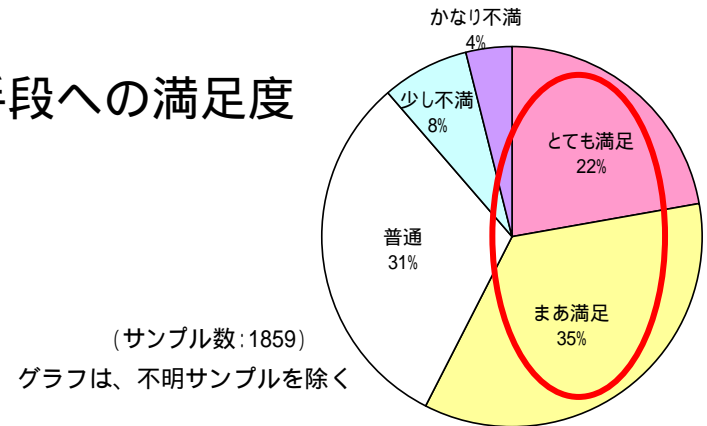
よく利用する交通手段



複数回答
(サンプル数: 1914)

グラフは、不明サンプルを除く

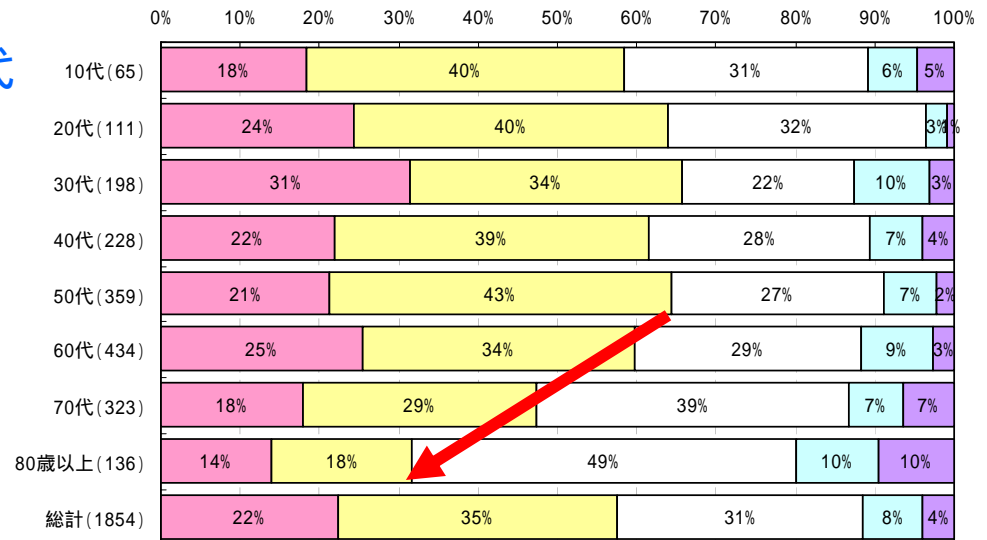
交通手段への満足度



(サンプル数: 1859)

グラフは、不明サンプルを除く

10代
↓
80歳以上



グラフは、不明サンプルを除く

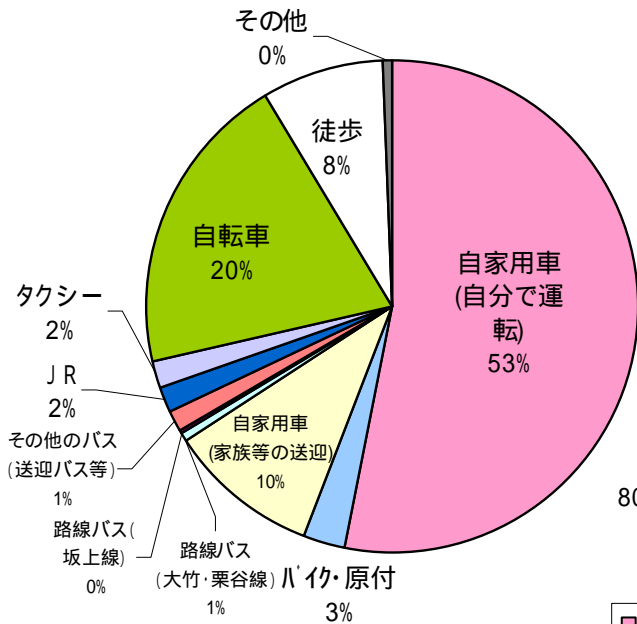
■ とても満足
 ■ まあ満足
 ■ 普通
 ■ 少し不満
 ■ かなり不満

(2) 普段の行動は？ (市民アンケート)

買物目的

年齢が上がると、**家族等の送迎**や**徒歩**が増加。
80歳以上は**タクシー**活用も多い。

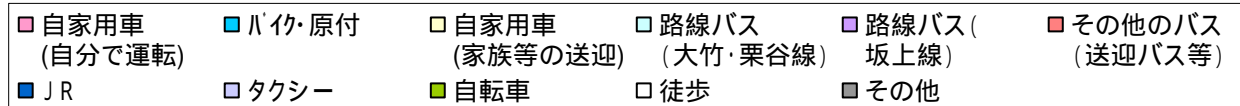
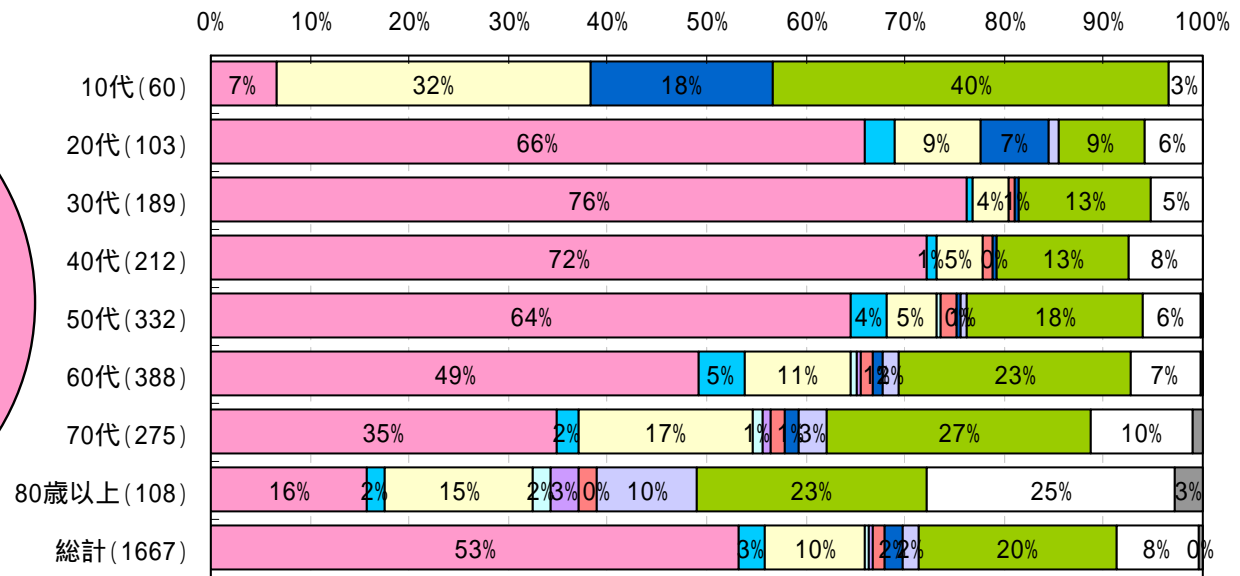
よく利用する交通手段



(サンプル数:1672)

グラフは、不明サンプルを除く

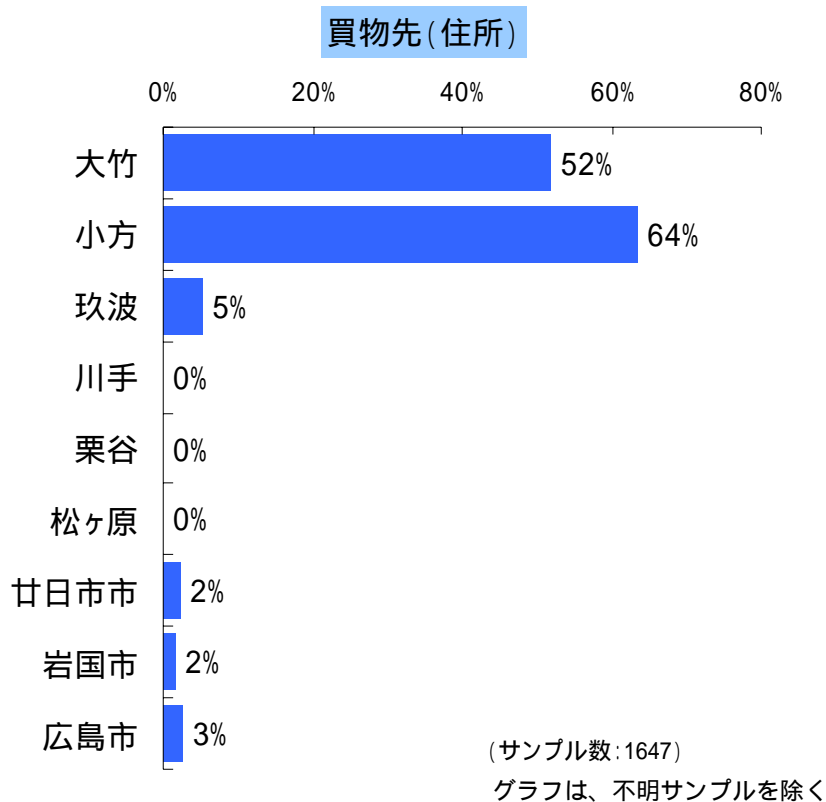
(年齢別では)



グラフは、不明サンプルを除く

買物目的

よく行く買物先



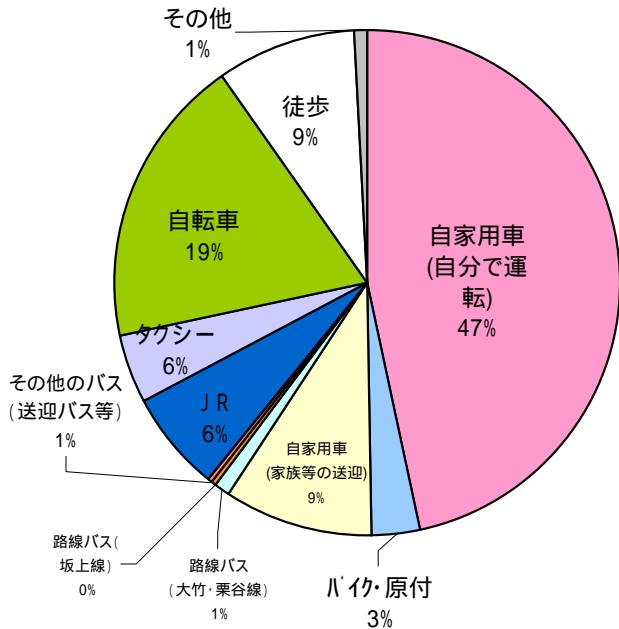
買物先の住所は、**小方地区**または**大竹地区**が大半を占める。

主な買物先のみ表記 (回答が5件以上)



通院目的

よく利用する交通手段

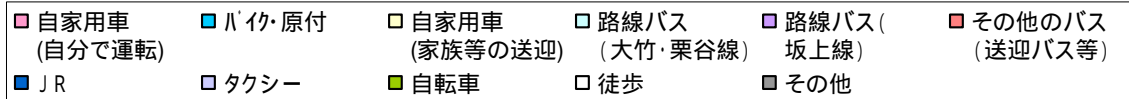
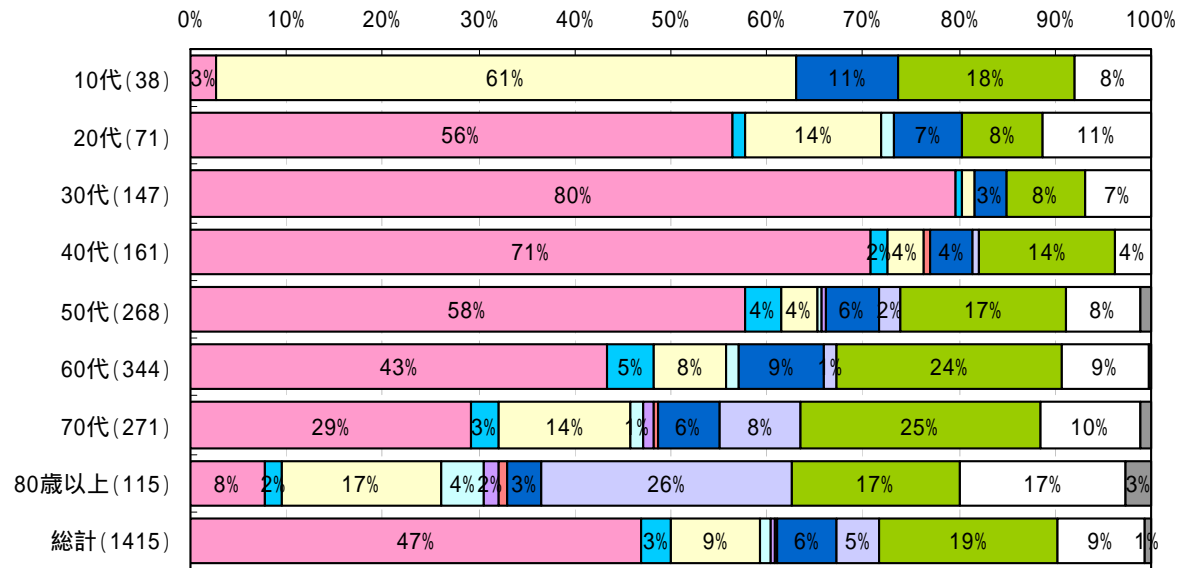


(サンプル数: 1419)

グラフは、不明サンプルを除く

年齢が上がると、**家族等の送迎**が増加。
通院頻度が高い70歳以上は**タクシー**活用も多い。

(年齢別では)

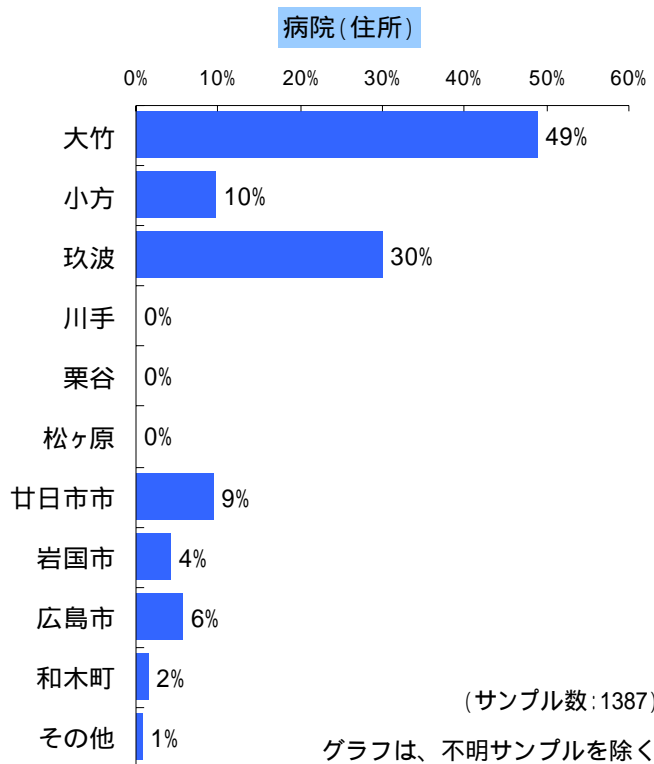


()内はサンプル数

グラフは、不明サンプルを除く

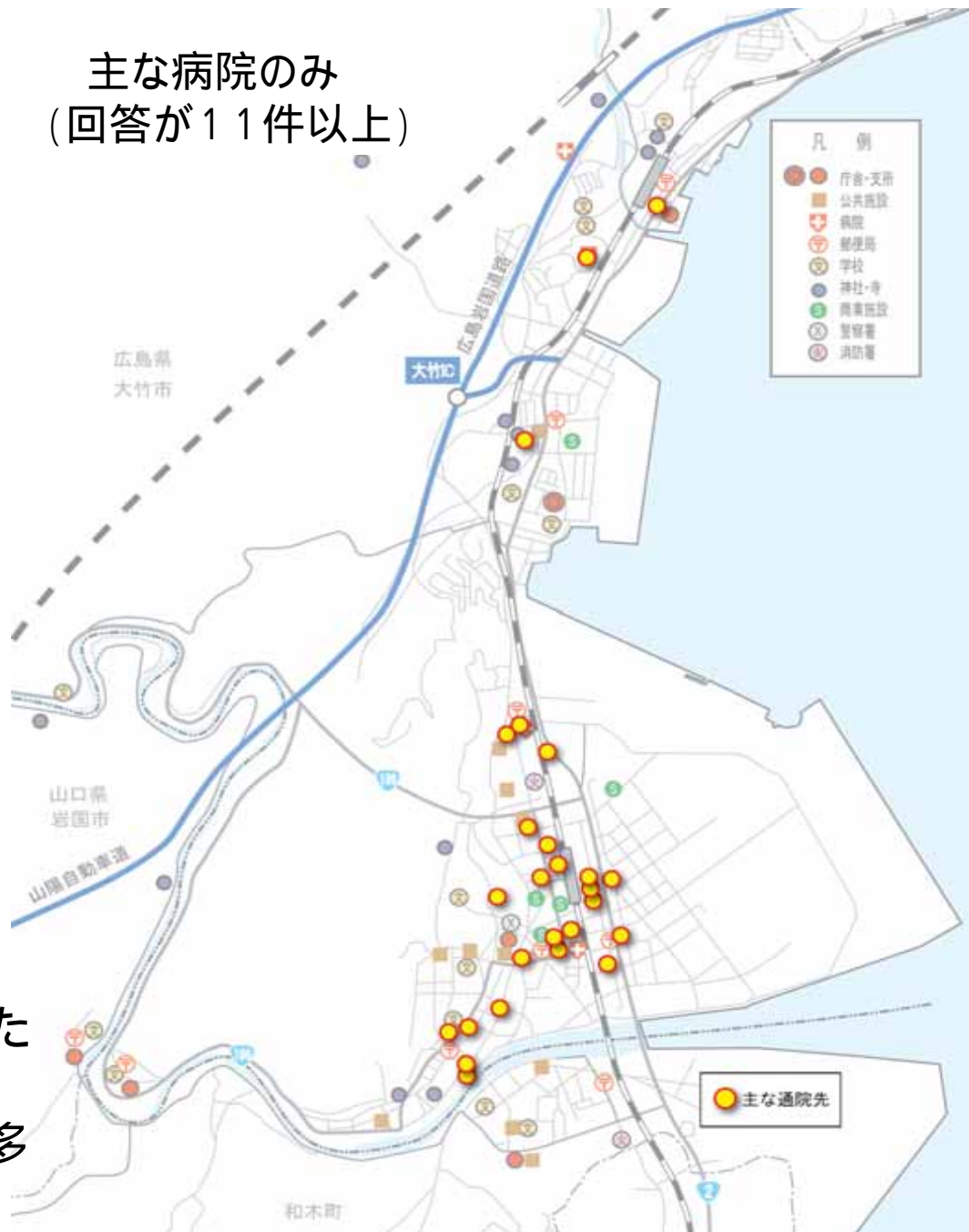
通院目的

よく行く通院先(病院)



通院先の住所は、**大竹地区**または**玖波地区**が多い。
特に大竹は、駅周辺の病院が多く拳がっている。

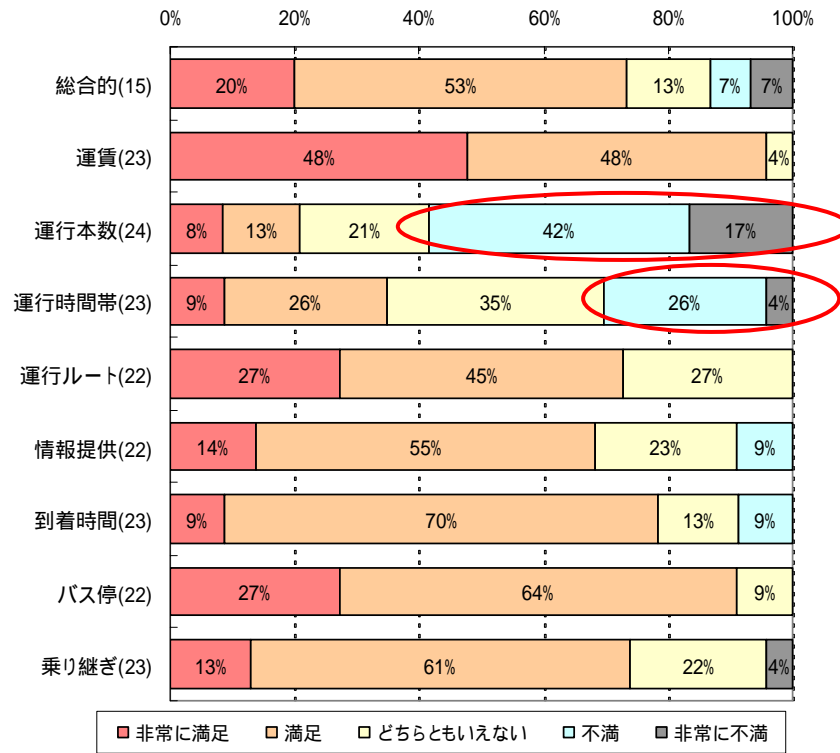
主な病院のみ (回答が11件以上)



(3) 路線バスは満足？ (バス利用者アンケート)

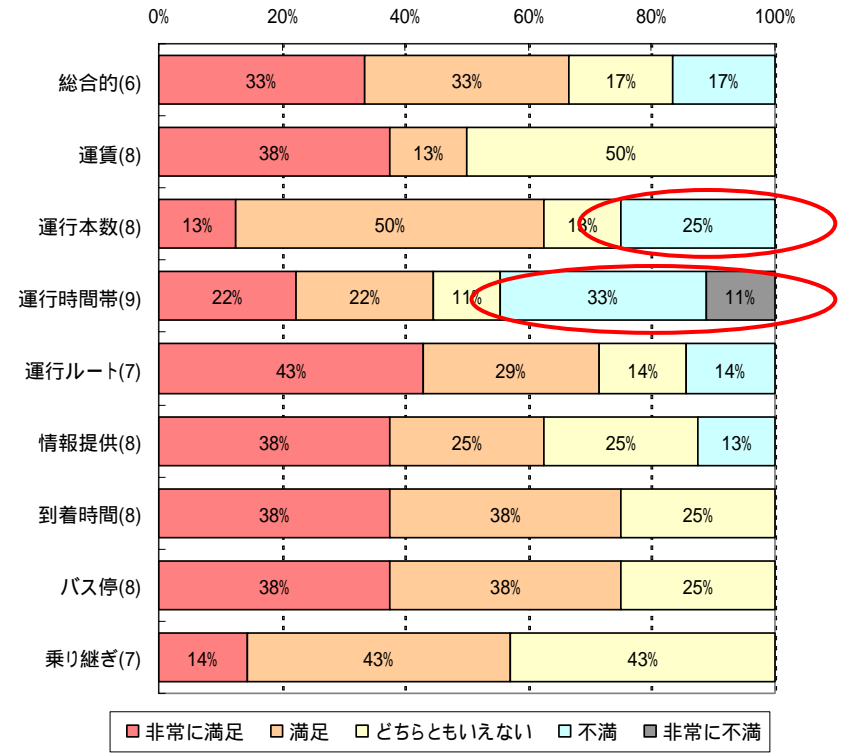
利用者の視点では、**バスに満足している人が過半数**。
 しかし**運行本数**や**運行時間帯**については、**不満な方も見られる**。

< 坂上線 >



()内はサンプル数

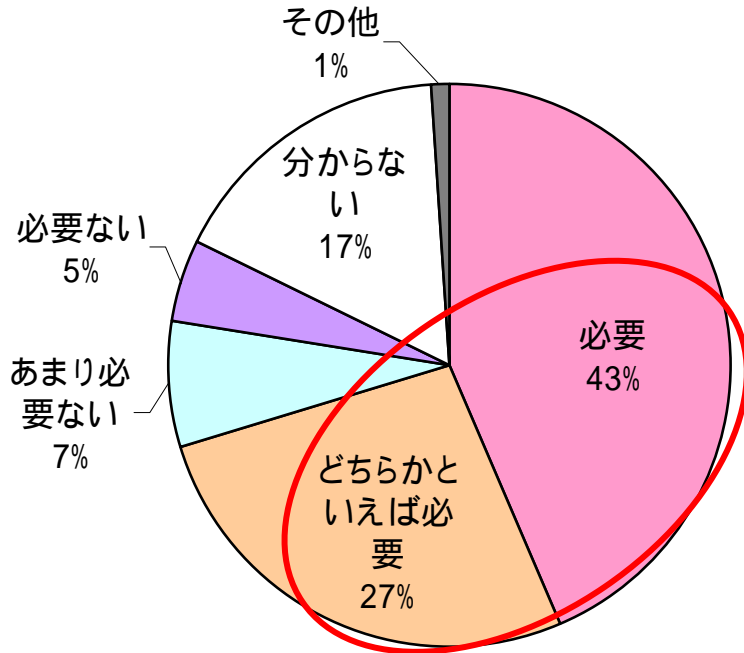
< 大竹・栗谷線 >



グラフは、不明サンプルを除く

(4) 今後の整備のあり方は？ (市民アンケート)

公共交通整備の必要性

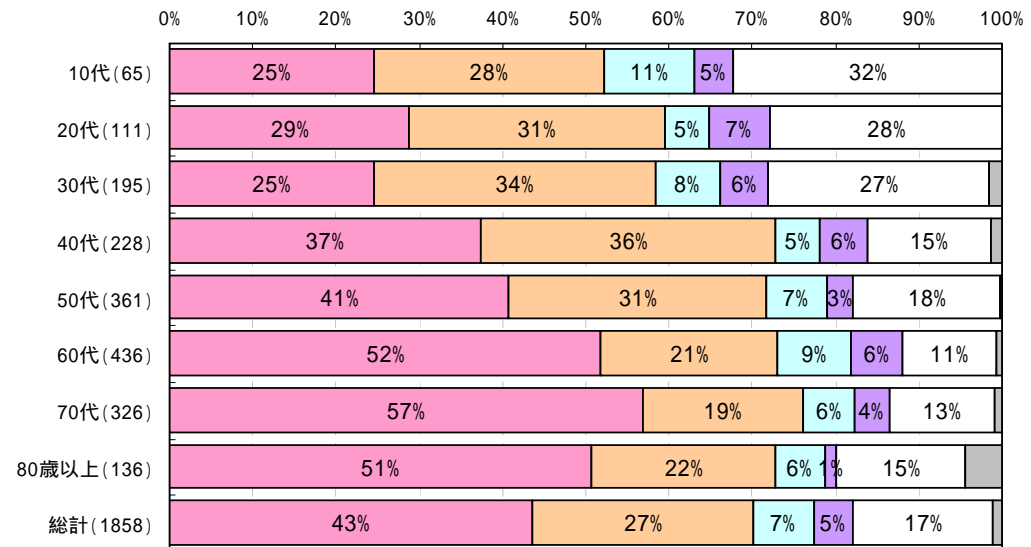


(サンプル数: 1863)

グラフは、不明サンプルを除く

市民の約7割が、整備の必要性を感じている。高年齢ほど整備要望が強い傾向(50歳代を超えると「必要」が半数以上)。

(年齢別では)



□ 必要 □ どちらかといえば必要 □ あまり必要ではない □ 必要ない □ 分からない □ その他

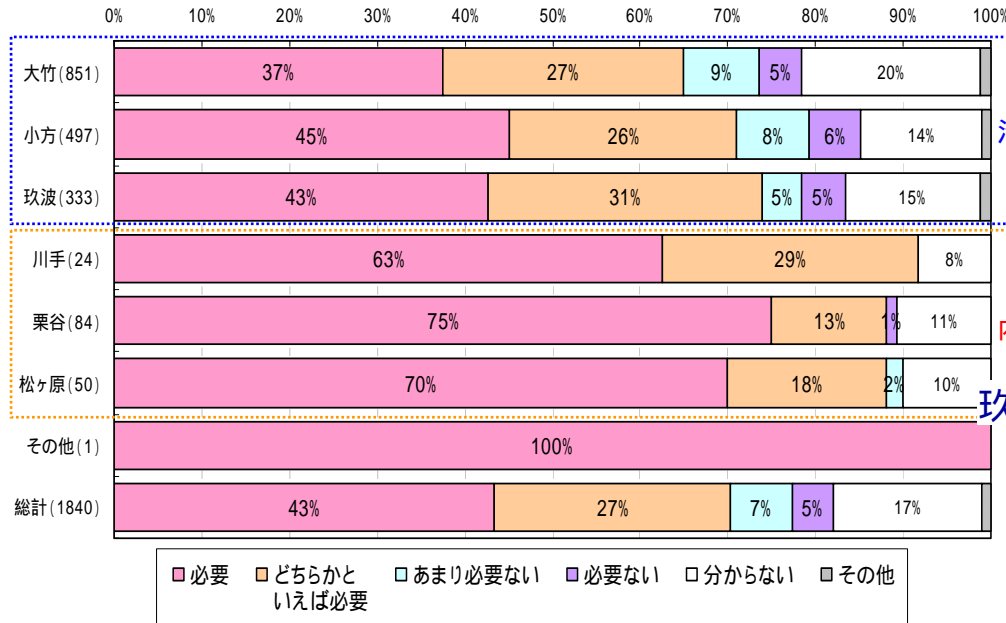
()内はサンプル数

グラフは、不明サンプルを除く

公共交通整備の必要性

内陸地域の方が、整備要望は高い。
沿岸地域でも、高台に限定すると、要望は高い。

(地域別では)



沿岸

内陸

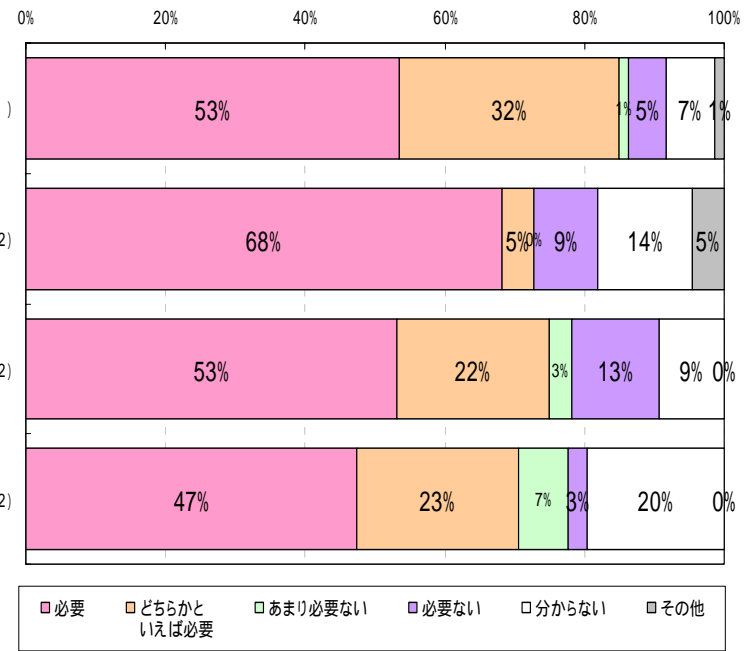
特に高台に限定すると...

玖波 7 8)

湯舟 (22)

三ツ石 (32)

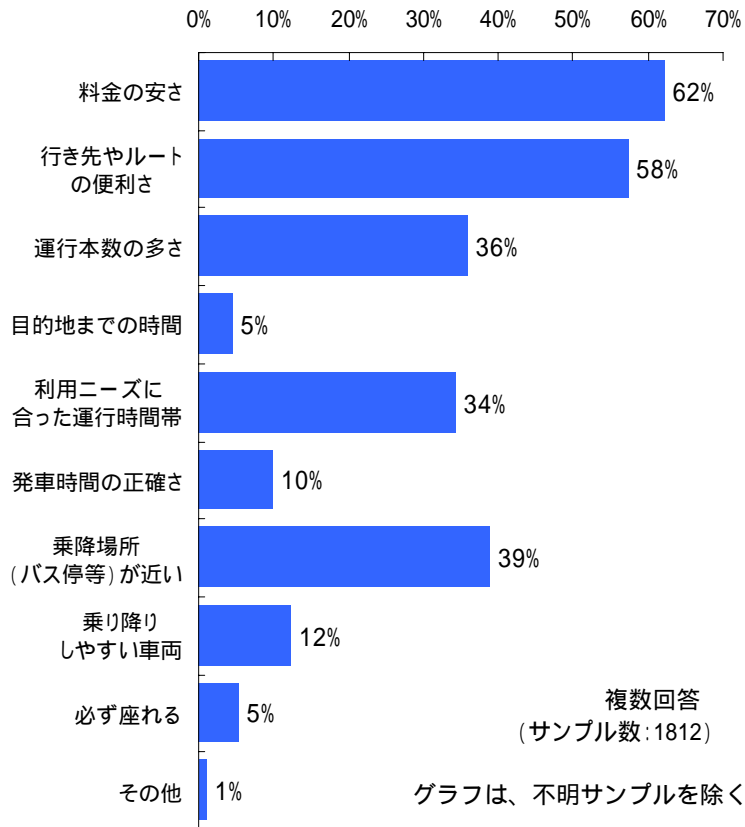
御園 (112)



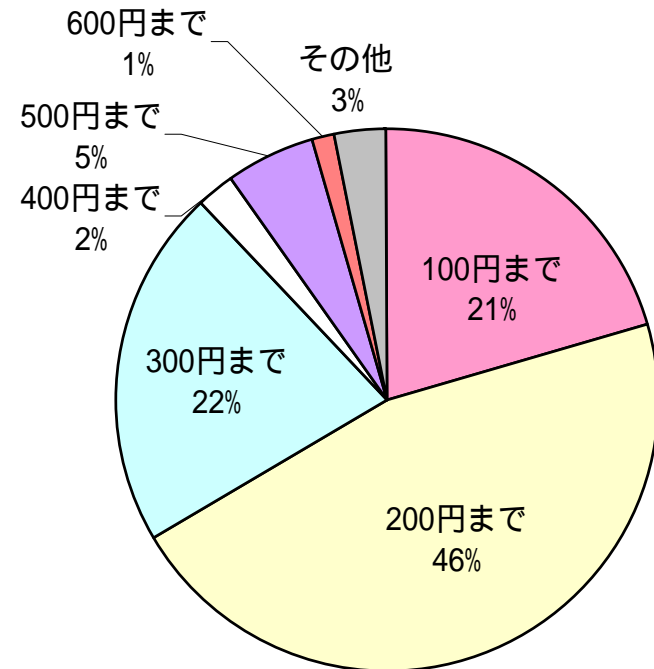
()内はサンプル数
グラフは、不明サンプルを除く

利用にあたっては、**料金の安さ**や**ルート**、**近さ**がポイント。
払っても良い料金は、**200円**が最も多く、半数弱を占める。

利用する際に重要視すること



払っても良い運賃

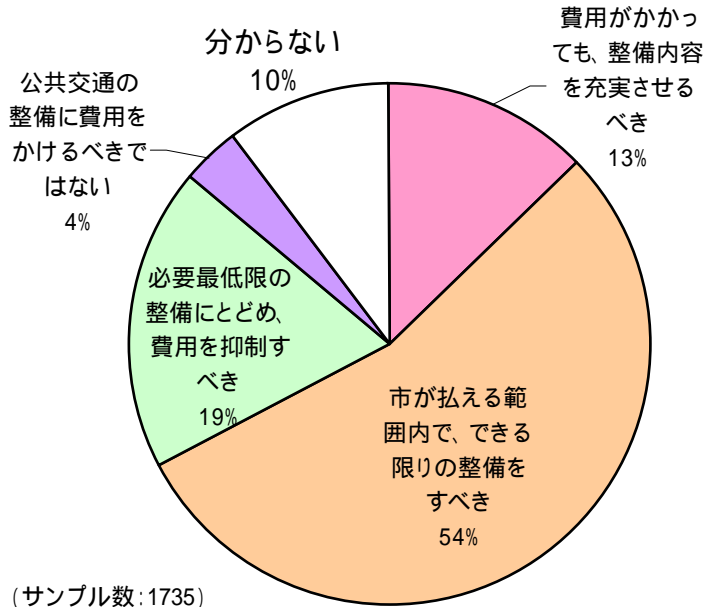


(サンプル数:1777)

グラフは、不明サンプルを除く

公共交通整備の考え方

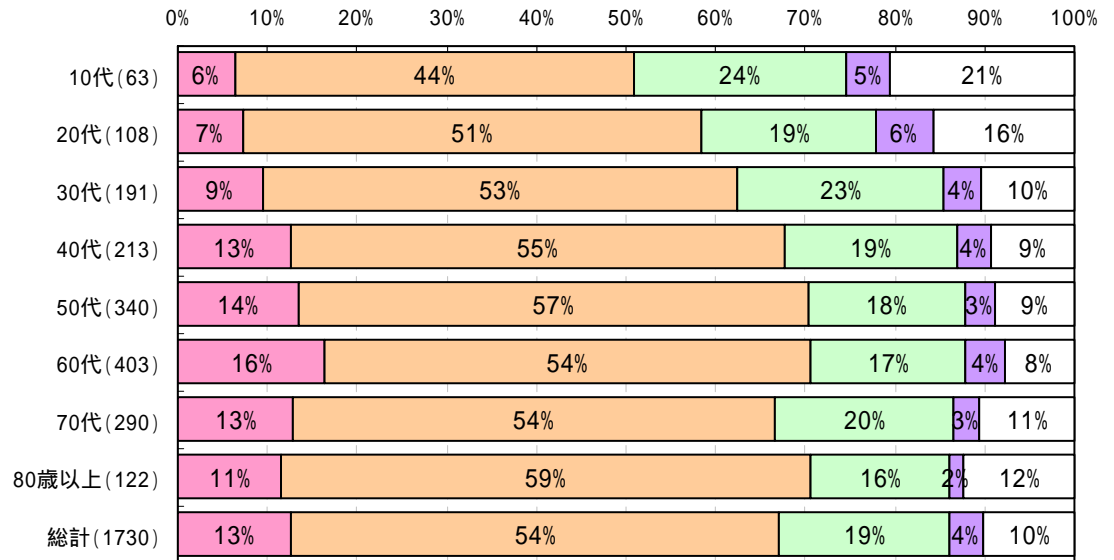
市が払える範囲でできる限りとする人が過半数を占めている。
 高齢ほど、整備に対する要望が強い傾向。



(サンプル数: 1735)

グラフは、不明サンプルを除く

(年齢別では)



■ 費用がかかっても、整備内容を充実させるべき
 ■ 市が払える範囲内で、できる限りの整備をすべき
 ■ 必要最低限の整備にとどめ、費用を抑制すべき
 ■ 公共交通の整備に費用をかけるべきではない
 ■ 分からない

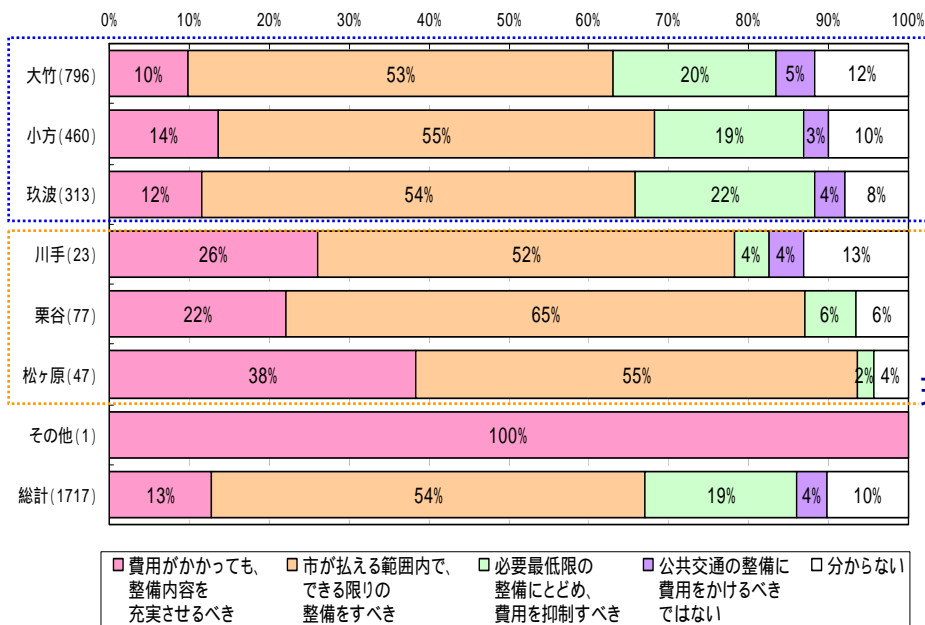
()内はサンプル数

グラフは、不明サンプルを除く

整備の考え方

地域別では、**内陸地域**の方が、整備要望が強い。

(地域別では)



沿岸

内陸

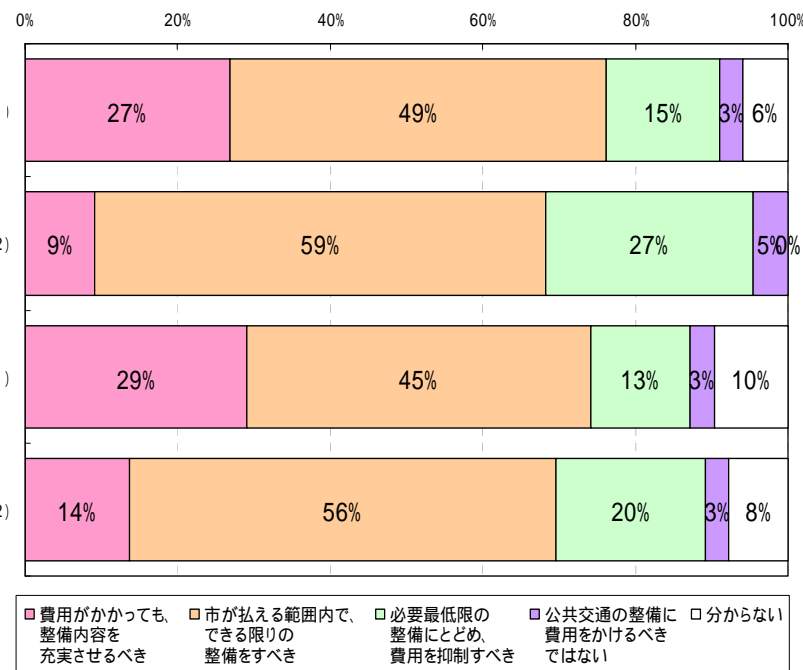
玖波 7 8

湯舟 (22)

三ツ石 (31)

御園 (102)

特に高台に限定すると...



()内はサンプル数
グラフは、不明サンプルを除く

(5) アンケート結果から見えること

多くの市民は、「**自動車**」を利用して生活(買物・通勤)している

高齢になるほど「**家族などの送迎**」
「**タクシー**」の割合高い

高齢になるほど、今の交通環境に
満足していない

高齢になるほど、新しい公共交通
(バスなど)の**整備要望が高い**

内陸地域からも、沿岸地域に移動している

路線バス利用者でも、本数、時間帯に不満な割合が高い

||
(つまり本数、時間帯が不便なので、利用者が少ない?)

内陸地域の方が、新しい公共交通(バスなど)の**整備要望が高い**

進む高齢化!

生活に対する不安増大

大竹市の将来のため、公共交通体系の見直しは喫緊の課題

おおたけ交通 まちづくりワークショップ ～ 実施結果 ～



1. おおたけ交通まちづくりワークショップとは

その目的は

より良い公共交通づくりの参考にさせて頂くため、
今後の路線バスや地域の活性化を市民と一緒に考える
「ワークショップ」を開催しました

2種類のワークショップを開催しました

住民ワークショップ

普段の移動でバスを利用する場合、どんな問題がありますか？
新しいバスが、たくさん利用されるには、どんな工夫が必要？

商店街ワークショップ

どんなバスがあれば良いですか？
人を呼び込むアイデアは？（バスの活用方法は？）
新しい路線バスを利用して、「大竹駅前商店街」の活性化に繋がる方策を探る

「大竹市市民交通体系調査プロジェクトチーム 報告書」 による「幹線バス」のルート

注) この「幹線バス」ルートは、市職員による検討チームが提案したものであり、何らオーソライズされたルートではありません。

鉄道駅、市役所・公共施設、買い物、病院へのアクセス利便性を考えると、下図のような幹線バスルートを通すのが良いと考えた

凡例

- 市役所・公共施設
- 良く訪れる買い物先
- 良く訪れる病院

国道2号は渋滞の影響による遅延が見込まれるため、できるだけ走行しないようなルートを設定する

片道30分、往復60分以内のルートとする
各バス停で「毎時 分」のダイヤ設定可能 = 覚えやすい

2. 住民ワークショップ 実施概要

協議テーマ

普段の移動でバスを利用する場合、どんな問題がありますか？
新しいバスが、たくさん利用されるには、どんな工夫が必要？

大竹地域	日時	平成20年11月21日（金）19時00分～
	場所	大竹会館
	参加人数	18人
玖波地域	日時	平成20年11月22日（土）10時00分～
	場所	コミュニティサロン玖波
	参加人数	11人
小方地域	日時	平成20年11月22日（土）14時00分～
	場所	大竹市役所
	参加人数	14人

2. 住民ワークショップ 実施の流れ

全体ワーク（参加者全員で）

事務局スタッフの紹介



事務局より大竹市の現状

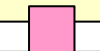
（高齢化やバスに関わる状況）について説明



ファシリテーターが参加者全員に現在、移動に関して困っていることを設問し、意見を集約



事務局より幹線バスの考え方について説明



テーブルワーク（6人程度のグループで）

各テーブルで自己紹介し、各自の居住地を地図に記入



参加者が、幹線バスや新しい公共交通の整備に関して意見を出す
意見は、事務局スタッフがポストイット等に記入し、
各テーブルに用意した地図に貼り付ける



最後に、各テーブルで協議した内容を発表（情報の共有化を図る）



2. 住民ワークショップ 結果

意見やアイデアをポスト
イットに記入し、貼付



地図に直接書き込んで
アイデア・意見を整理



2. 住民ワークショップ 結果

ワークショップで分かったこと

日頃の移動で困っていること

- バスやタクシーで移動するときに困ること
- 徒歩や自転車、バイクで移動するときに困ること
- 家族などのクルマに乗せてもらうときに困ること
- JR駅のバリアフリー

新しいバスについて

- 幹線バスのルートに対して
- フィーダーバスのルートに対して
- バスの料金、ダイヤ、運行間隔などに対して
- バスの車両に対して

バスの経営について

- 採算性と必要性に対して
- 広告収入
- 委託コストの削減
- バス運行経費を目的税として徴収
- スクールバスなど既存システムの活用

官民協働・住民主導について

- 住民の意識、市民と市の協働
- 成功事例をつくる

2. 住民ワークショップ 結果

日常生活の移動で困っていること

1) バスを使うのに困ること

- バスの便数が少ない(特に昼間)、国道2号線にバス路線がない
- 乗降ステップが高い

2) タクシーを使うのに困ること

- お金がかかる

3) 自転車・バイクを使うのに困ること

- 雨の日に困る、遠くへ行けない
- 自転車に乗れなくなった

4) 徒歩のときに困ること

- 荷物がある買い物するときなどに不便

5) 家族のクルマに乗せてもらうとき困ること

- 家族・他人に頼みにくい
- 家族の都合に左右される(休みの日だけ乗れる、家族の入院時は外出できない)

6) JRで移動するときに困ること

- 大竹駅や玖波駅は階段しかなく、上り下りが大変

2. 住民ワークショップ 結果

日常生活の移動で困っていること

- 現在クルマに乗っていない人は、不便を感じている人も多い
- 通院などにタクシーを利用している方も少なくなく、**負担が大きい**という意見であった
- 家族等にクルマで送迎してもらう場合は、**頼みにくい、自分の都合で行動できない**という事情も確認できた
- 今、クルマや自転車などに乗り、不便に感じていない人からも、**高齢になると利用できなくなるかもしれない**、という意見もあった
- JR駅の**バリアフリー化**を求める声も多かった

2. 住民ワークショップ 結果

新しいバスについて

- 通勤通学や通院など**ニーズの高い朝夕を中心**としたダイヤの設定
- 市役所、ゆめタウンは通らないルートで時間短縮するのはどうか
- **地元の商店街**を考えると、幹線バスはない方がよいかもかもしれない

バスの運行・経営について

- バスの車内や停留所に**広告を付けて広告料**を取ってはどうか
- **採算性よりも必要性**が大事
- **退職者の採用、ボランティア**による運行等で、経費を抑えることが重要
- **運行経費を目的税**として徴収する
- スクールバスなど**既存システムの活用**
- 利用者を増やすためには、**情報提供が重要**

官民協働・住民主導について

- 住民意識が大事、**市民と市が一緒につくるバス**を運行させる
- **成功事例を作る**べきである

3. 商店街ワークショップ 実施概要

協議テーマ

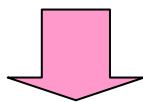
どんなバスがあれば良いですか？
人を呼び込むアイデアは？（バスの活用方法は？）

新しい路線バスを利用して、「大竹駅前商店街」の活性化に繋がる方策を探る

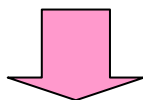
日時	平成20年11月11日(火)19時00分～
場所	竹の子の里 安心ホームみくら
参加人数	11人
主な参加者	大竹商店街の商店主など

3. 商店街ワークショップ 実施の流れ

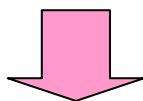
参加者全員が自己紹介



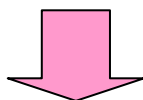
事務局より大竹市の現状（高齢化やバスに関わる状況）について説明



事務局より幹線バスの考え方について説明



参加メンバー各自がポストイットに商店街の活性化のアイデアや、幹線バスの問題点・改善アイデア等について記入



各参加メンバーが記入内容を発表（情報の共有化を図る）



3. 商店街ワークショップ 結果

商店街活性化に関する
アイデア・意見



バス路線に対する
アイデア・意見

3. 商店街ワークショップ 結果

商店街活性化に向けたアイデア・意見

商店街独自で可能
かもしれない



行政などの
支援が必要

個店の魅力強化	<p>単身者が多いため、そのニーズにあった品揃え</p> <p>安心・安全なモノの提供</p> <p>個店の競争力の強化</p> <p>核になる店・行列の出来る店</p>	<p>大竹の特徴を活かして、病院との協力・連携</p>			
雰囲気づくり	<p>触れあいのある商店街</p> <p>入ってみたいと思える店づくり</p> <p>面白いおっちゃん・面白いモノがある (これが商店街の特色)</p>	<p>若者が歩く街になること</p>	<p>スペイン通りを中心としたバス整備</p>	<p>バイトなどで若い人を取り込み</p>	<p>夜の照明が明るくなれば良い</p>

3. 商店街ワークショップ 結果

商店街独自で可能
かもしれない



行政などの
支援が必要

イベントの実施

ストーンアートマップ
(中学校の協力を得て、
実施に向け取り組み中)

朝市の開催

商店街名の変更

市民が興味を持って
くれるイベントを、
市と協力して実施

マップを使ったスタンプラリー
物語づくり
(地蔵さんのようなオブジェ)

例えば、バスの出発
式を商店街で開催

空き店舗対策

空き店舗対策(行政支援を要望)
今は「点」、これを「線」にする
ことが必要

雨の日・長時間でも快適にバスを
待てる場所を整備

固定資産税が3分
の1になるような
制度を使って、空
き店舗を障害者に
貸し出す

地域拠点
整備

街なかにトイレ
が欲しい

多くの人が集まる施設(核
になる施設)が欲しい
例えば、温泉のような施設

3. 商店街ワークショップ 結果

バス路線に対するアイデア・意見

ア) 運行コースについて

- 幹線バスよりも市内を大きく回るバスを作るべき。こまめに住宅地を巡回するようなバスルートの方が良い。
- 大きな巡回は経費がかかるため、地域を分け、各地域の中で高い水準のサービスを提供する方が良い。
- 大竹～元町を巡回するバスが良い。
- 木野～大竹の路線バスを多くして欲しい。
- 病院に行くコースが良い。病院と商店街を結ぶバスが良い。

イ) サービス内容について

- バスの便数を増やす。
- 年金が支給される偶数月15日に、銀行と郵便局と商店街を結ぶバスが良い。
- バス運行の際は、ゆめタウンやイズミにも費用面で協力してもらう。
- マイクロバスなどで、バス停以外でも手を挙げたら乗降出来るようにする。
- スペイン通りはフリー乗降にする。

3. 商店街ワークショップ 結果

バス路線に対するアイデア・意見

ウ) 晴海エリアとの関係について

- バス路線次第で、晴海へ運ぶことが予想される。
- 駅前からの流出を防ぐ注意が必要。

エ) その他の意見

- 今のバスの利用者からの意見をもっと整理した方がよい。健康な人の意見では、まともに利用しない。
- すべてを網羅するのではなく、外出したいけどできないようなお年寄りをターゲットとした方がよい。
- 幹線バスについては利用者数や経費が分からないと判断つかない。

先進事例の紹介 (3地域)

<ワークショップから得られたキーワード>

- ・住民主導で公共交通づくり
- ・幹線 + フィーダー (幹と枝)

住民が主体となり創り守られるバス

兵庫県 神戸市 「住吉台くるくるバス」

住民主体の検討を経て、利用者が多いバス事業が実現！

- ・ S40年代に開発された高台にある住宅団地であり、高齢化・急な坂道が課題。
- ・ 住民主体の「東灘交通市民会議」が平成16年に発足し、バス運行を目指してルートやダイヤ等を検討。行政は住民をサポート。
- ・ 運行実験を経て、平成17年1月から本格運行。

住吉台地区(H17国勢調査)
1,660世帯、3,739人

【バスの概要(運行主体:みなと観光バス)】

- ・ 運行時間:毎日6:46~21:31、朝夕15分間隔
- ・ 運行本数:56便。
- ・ 路線:JR住吉駅~区役所~住吉台(8ヶ所)を回る
- ・ 運賃:大人200円、小人100円、
- ・ バス車両:ノンステップバス(35人乗り)・車いす対応の小型バス



【負担】

- ・ 神戸市は、助成できないと公表。住民から理解を得ていた。
 - ・ 営業収支は黒字。
- 公的補助なし**

【効果】

- ・ 利用者数:約800人/日
- ・ 1便平均:7.3人
- ・ H17.1~H18.2

これからは
「守り育てる」ことが
住民の役割

【くるくるバスを守る会を発足】

- ・ 「くるくるバス通信」を発行し、全世帯に配布
- ・ 協賛事業者への呼びかけ
- ・ 定期券販売 など



出典:国土交通省、神戸市東灘区役所ホームページ

住民が主体となり創り守られるバス

兵庫県 神戸市 「住吉台くるくるバス」

乗車数 平成20年5月
「100万人突破！」

公的補助のない
状況で、営業収支
は黒字を達成！

住民主体の検討組織の発足
とリーダーの活躍！

車を手放しバスに
切り替えた利用者もいる！

1日の乗車数
「1,000人を超える日がある」

自治会が主体となって運行するコミュニティバス

神奈川県 川崎市「みらい」



川崎市宮前地区
野川南台地区
738世帯、1,500人

自治会費によって運営を賄っている！

- ・S40年代に開発された高台にある住宅団地であり、高齢化・急な坂道が課題。
- ・自治会中心に「南台コミュニティ交通導入推進協議会」が平成17年に設立、行政と協働でバス運行を目指す。
- ・運行実験を経て、平成20年7月から本格運行。



・急な坂道
・歩くには精神的にも体力的にも大変

・通院で利用する高齢者
・タクシーだと710円かかる

【バスの概要(運営主体:野川南台団地自治会)】

- ・運行日:月曜日・水曜日・金曜日
- ・運行時間:9時台~15時台(12時台を除く)
- ・運行本数:各7便
- ・路線:3路線、(第1ルート、第2ルート、第3ルート)
3つのルートを1時間かけて走行
- ・運賃:無料(自治会会員限定)
- ・車両:ワゴン車(10名乗り)
- ・運転者:地域のボランティア(有償)

【みらい路線図】



【効果】

- ・利用者数:平均75人/日
- ・高齢者の買物、通院などの利便性が向上した
- ・利用者同士の移動中の会話など、地域のコミュニティづくりにも寄与

【負担】

車両購入費:250万円を川崎市が負担
運営費:800世帯が納める自治会費
運転手:3000円/日(ボランティア)
地元企業からも協賛金を集めている

自治会が主体となって運行するコミュニティバス

神奈川県 川崎市 「みらい」

住民主体の検討組織の発足！
行政のサポート。企業の協賛。
路線の免許が不要。

幹線に接続するデマンドタクシーの導入

広島県 山県郡安芸太田町 「あなたく」

デマンドタクシーが広域路線バスへ接続！

- ・集落が山地の各谷筋に分布するなど、公共交通機関の運行においては非効率な状況。
- ・バス路線のない地域でも30分前の電話予約でデマンドバスが利用可能

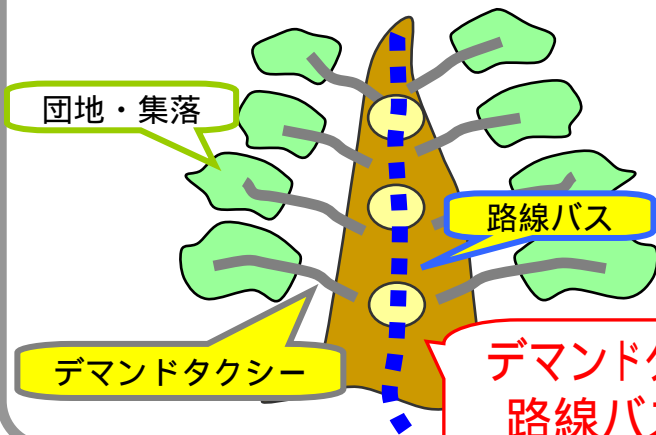
安芸太田町

3,557世帯、8,121人
高齢化率42.43%

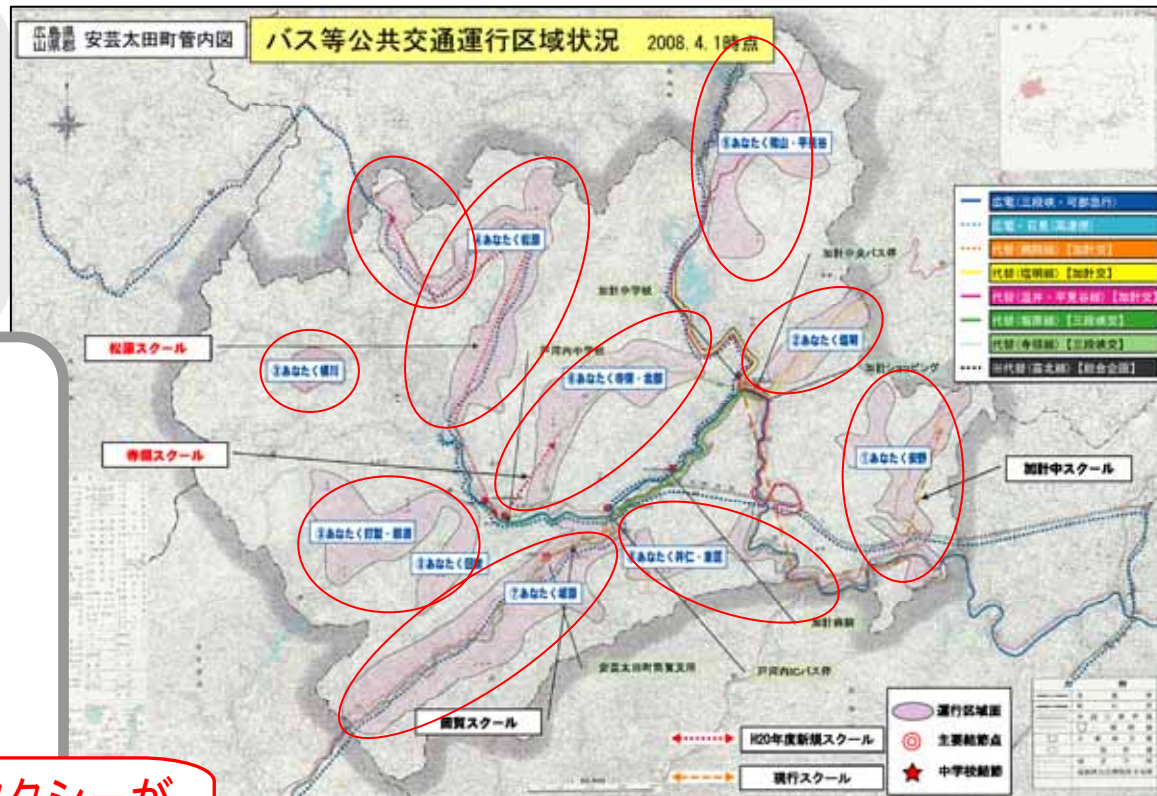
【運行の概要】

- ・運行日:月~土 (横川のみ月・水・金)
- ・運行時間:7:00~19:00(横川以外の路線)
- ・運行本数:4~11便(路線により異なる)
- ・路線:計8路線
- ・運賃:200円均一
- ・車両:ジャンボタクシー
- ・運行事業者:加計交通・三段峡交通・安野タクシー

路線イメージ



デマンドタクシーが
路線バスに接続



幹線に接続するデマンドタクシーの導入

広島県 山県郡安芸太田町 「あなたく」

電話予約はこのように

「病院・買物等へ行きたい・・・」

自宅



の ですよ。
あなたく の
時 分発で
まで
お願いします

公衆電話



オペレーションセンター

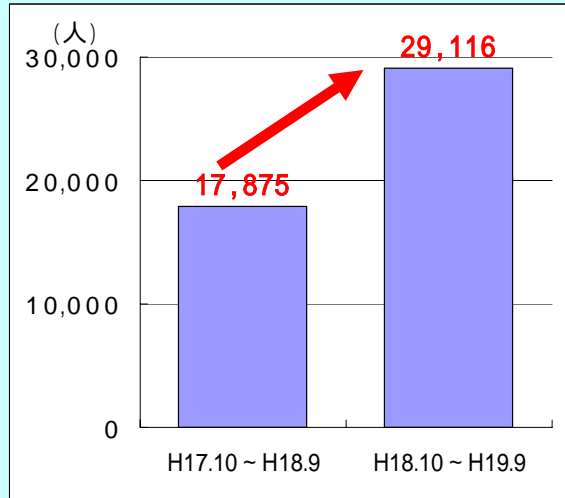


の さんですね。
あなたく の
時 分発で までですね。
予約受付ました。

幹線に接続するデマンドタクシーの導入

広島県 山県郡安芸太田町 「あなたく」

利用者数

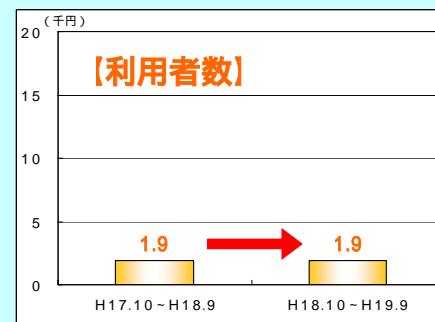
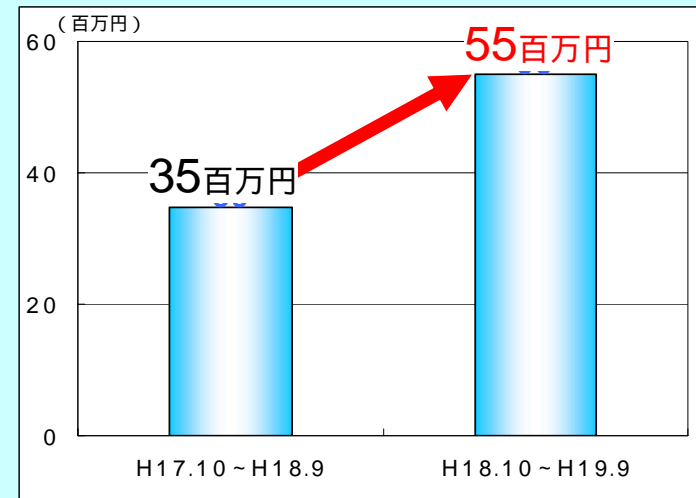


- ・H18.10~H19.9の利用者は年間で約3万人。
- ・前年度と比べると利用者は約1万人増加。
(但し、H18年に5路線の運行が開始された。)

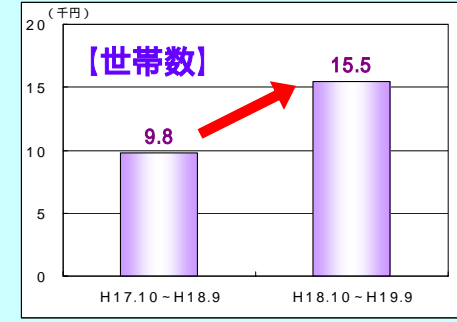
H17.10~H18.9までの路線の増加

- ・10月~3月: 3路線のみ運行
(「安野」「塩明」「田吹・打梨・那須 横川」)
- ・4月~6月: 5路線のみ運行
(上記路線+「松原・小坂」「猪山・平見谷」)
- ・6月~ : 全8路線運行

維持経費



利用者1人あたり
1.9千円で変化はない。



1世帯あたり
9.8千円 15.5千円と増加している。

幹線に接続するデマンドタクシーの導入

広島県 山県郡安芸太田町 「あなたく」

幹線(路線バス) + 支線(あなたく)により、
広いエリアの交通を確保
生活交通確保のための経費が増大
(町としても最大基準額の検討が課題)